

1/9 木曜

救急患者、放置され死亡

英病院「人道危機」

冬の寒さで増加する患者に対応できない事態が、英國の病院で相次いでいます。英國赤十字が「人道危機」というところまで深刻化。今年に入り英中部のウースター・シャー・王立病院では、長時間廊下で待たれていた患者が2人死亡し、病棟でも1人死亡していたのが発見されるというショッキングなニュースが報じられました。

（伊藤寿庸）

的な状況にあることは、かねてから指摘されていました。

BBCが医療関係のシンクタンクに委託した調査では、イングランドのNHS信託（NHSへの市場原理導入で設置された独立採算の事業体）152団体のうち50団体

地元メディアの報道によるところ、これらの死者は今月1~3日の間に発生。救急搬送された心臓発作の女性はストレッチャーに寝かされたまま廊下で35時間待たれた末に死しました。もう一人は、ストレッチャーの上で動脈瘤（りゅう）のため亡くなりました。

冬季の患者の急増に対し、国民保健サービス（NHS）が、ベッドや人員不足で危機

マンチエスター大学病院前に掲げられた「私たちのNHSを救え」と書かれたプラカード（2016年2月10日、マンチエスター（ロイヤル）

サービスにおける人道危機に、われわれは最前線で対応している」と指摘。医療や社会的ケアへの予算増額を訴えました。

「ゆりかごから墓場まで」

と言わせて戦後の英國民の健康を支えてきたNHSですが、緊縮政策による予算削減や高齢化などによって大きな圧力を受けてきました。

英國の緊急医療協会のホラント会長は、「NHSのスタッフに世界級のサービスを求めながら、人員やベッドの数は第三世界並みだ。ウースターシャー病院での死亡者のような事態はどこの病院でも起きた」という。とガーディアン紙にコメントしています。

ベルの「非常事態」になったところに次ぐ2番目に高いレベルの「非常事態」が15回もあり、患者への包括的なケアが不可能になりました。

また英紙ガーディアン（電子版）は7日、昨年12月にNHSの緊急病棟が患者の受け入れを断ったのは140回以上に達したと報じました。このような事態を受け、英國赤十字のアダムソン総裁は7日、「全国の病院や患者搬送が医療機関の財政を圧迫して低下させられてきた」と批判。政府による医療支出の国内総生産（GDP）比での減少幅が、1948年のNHS創設以来最大となっている一方で、民間セクターの関与で増大している借入金の利払いが医療機関の財政を圧迫している」と告発しています。